



2024 JR総連春闘勝利！ シリーズ⑬

格差ベア拡大で若年層は冷遇！

ベア配分交渉第2回団交（回答）

会社回答に対して持ち帰り検討

本部は本日、『申第12号』に基づく第2回団体交渉を開催しました。会社は、今年度新賃金配分について、「努力した人が報われるため」と前書きした上で、社員の基本給に等級及び区分に応じて額を加算すると回答しました。本部は、「基本給加算額について、組合が要求した一律の配分とはなっていない。一律でも賃金カーブは維持できる。上位職と若手社員との間に格差が更に広がった。下位職の社員は努力していないと受け止める。格差ベアにより、職場での不満は拡大し、離職は更に増える。この回答は納得いかない」と、会社回答に対して対立を通告し、持ち帰り検討としました。詳しくは後日発行の業務速報No.1377を参照して下さい。

〈提案された主な加算額と初任給〉

一般社員		専任社員		学校別初任給額		
等級	加算額	区分	加算額			
J 1	5,300円	I	6,700円	S 1	大学院	254,900円
J 2	5,700円	II	7,300円	J 3	大学	224,100円
J 3	6,000円	III	9,500円	J 2	短期大学	203,900円
S 1	6,700円	IV	会社が別に定める。	J 2	高等専門学校	〃
S 2	7,000円	V	6,000円	J 2	専修学校	〃
S 3	7,300円			J 1	高等学校	184,400円
C 1	8,000円			J 1	中等教育学校	〃
C 2	8,400円					
L 1	9,900円					
L 2	10,300円					
L 3	10,900円					